

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 3月 24日

事業所名 P.P.P プラットフォーム！玉島

保護者等数(児童数)：35

回収数：30

割合85.7%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	1	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	0	0	5		児童福祉法等の諸法令に則り、原則保育士3名を配置させていただいております。専門性につきましては、可能な範囲で研修に参加しております。未熟な点もあるかと思っておりますので、今後もご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	1	0	4	見る機会がない	直接お越しいただく機会の少ない保護者の皆様には、ご希望のタイミングでの事業所訪問も受付させていただきます。ご希望がございましたら、施設内のお写真もご用意させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	29	0	0	0	個人懇談で話した内容をもとに作成されている	今後とも、保護者様のご要望や困り感、なって欲しい姿に焦点を当てて支援を提供させていただきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	0	0	2	ガイドラインを知らないで分からない	「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」に該当する支援について、ご希望がございましたらご説明の機会を設けてさせていただきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	0	0	0	子どもの苦手なことに視点をあてた計画に沿った支援がされている	苦手なことだけでなく、得意なことも活かした手立てをおしらせ出来るように努めてまいります。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	29	0	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	3	0	14	分からないが、普段足りているので希望もしていない 園の送迎、連絡帳、会議にて交流あり	
保護者へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	2	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	28	1	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	21	4	1	3	困った事や悩んでいることを聞いてくれて、解決しようと関わってくれている イベントでの保護者茶話会で、わかりやすく関わり方を教えてくれた	親子イベント、個人懇談等で、保護者様の思いを聞き取ったり、直接支援の様子を見ていただいたりしております。今後も継続させていただきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28	0	1	0	自分は相談しているが、その後の様子を事業所へ伝えられていない	こちらからの聞き取り不足かと思っております。ご家庭での様子の聞き取り場面を増やしたり、個別の相談受付が可能な時間を、改めてお知らせさせていただきます。
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	0	0	0			

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	2	1	5	父母の会や保護者会があるかは不明	正式な保護者会は設立出来ておりませんが、親子イベント等で保護者様同士がお話出来るような機会を設けております。 現在ご利用中のお子さまに限らず、利用終了されたお子さまの保護者様とも意見交換が出来る機会を計画しております。ご参加いただければと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	0	0	1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	0	0	1	連絡帳や電話連絡で行っている	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	1	0	3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	1	1	2	他児の連絡帳が誤って入っていた事があった	その節は失礼いたしました。連絡帳の入れ違いが起こらないよう、連絡帳を入れる職員は二重での確認をさせていただいております。
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	18	5	1	5	説明は受けたが訓練がいつ実施されているかは不明	避難訓練実施日にご利用の場合、情報提供させていただきます。年4回の事業所だより等で、実施日や結果をお知らせいたします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2	2	10	いつ訓練されているか不明	
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28	0	1	0	毎回楽しそうにしている 遊びを通して学習の機会を設けてもらってうれしい	ありがとうございます。今後とも、楽しみながら個々の力を伸ばしていけるよう、努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	28	1	0	0		

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 24日

※在籍期間の短い職員も回答しているため
回答者数にばらつきあり

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！玉島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		人数に応じて、使用する指導訓練室を分けている。	
	2 職員の配置数は適切である	5			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	課題のボックスを用いることで、取り組む内容や課題量が明確。 必要に応じた動線を確保している。	階段の段差が高い。 靴箱周辺が狭い。 玄関の小さな段差に躓きそうになる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	毎日の清掃が実施されている。 一日3回の消毒が行えている。 チェックシートを活用している。	
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		日々、職員間でやり取りが行えている。	個人間、もしくは数名で行うことが多く、全体での会議という形では未実施。 一書面での全体共有は出来ている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		内容を全体で共有し、改善の必要がある内容を確認できている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2		どこに掲載されているか知らない職員がいる。 一掲載箇所を伝達、確認する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		外部評価がどこで行われているか知らない職員がいる。 一全体へ周知する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		法人内外問わず、研修に関する情報が知らされている。	外部研修は現場から抜けての参加が難しく、児発管の参加がメインになっている。 一内容を書面にまとめて周知している。
適切 な 支 援 の 提 供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		年2回の懇談の中でお話をうかがっている。 計画作成時に全員で案を閲覧することで、作成時に視野が広く持てるよう配慮している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		太田ステージ、遠城寺式発達検査等を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1年間の活動プログラムを全員で立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		運動、製作、机上活動など、バランスよく行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		職員間でやり取りを行いながら作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		一日のスケジュールを作成する際、活動の個々のねらいや活動の流れ、配慮点等について、確認してから開始している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	特記、共有事項がある場合は行っている。	毎回行っているわけではない。 →トラブル以外に関しても、職員間で共有する。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		連絡帳の内容を記録出来ている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5				
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	2		分からない職員がいる。 →母子保健に関連する社会資源について情報共有する。	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケア児は在籍していない。	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			緊急連絡先の確認を行う際、主治医、緊急搬送先等の情報の記入を保護者へ依頼している。	同上
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		必要に応じて、電話連絡、担当者会議、書類作成等を行っている。	書類を送っているが周知されていないケースもあった。 →保護者経由、または学校等への直接の確認を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		25と同様	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	25と同様	助言や研修を受けていない、受けているか分からない →他事業所主催の研修に関する情報収集を行う。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		地域の園や学校との交流の場に関して、情報収集を行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	児童発達支援管理責任者が参加している。	児童発達支援管理責任者の参加している研修が協議会のものか不明。 →児童発達支援管理責任者より周知する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		受け入れ、送り出しの場面で直接お話ししている。必要に応じて動画を撮影したり、方法を目の前でお見せしたりしている。	園に送迎している方については、直接お話出来る機会がほとんどない。 →年2回の懇談以外でも、やり取りする場面を設定する。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	親子イベント等で、保護者と職員のみでの活動の時間を設定している。	本格的なペアレントトレーニングは行っていない。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時、重要事項説明書に則って説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		同意を頂き、署名捺印を頂戴している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			相談のあがる保護者が決まっている。 →困り感、悩みが無いのか、言い出しにくい、忙しい等の理由であがっていないのか、意識的に吸い上げていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		親子イベント等で、保護者と職員のみでの活動の時間を設定している。	参加されるご家族が固定化している。 →参加しやすい開催方法について検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		年4回、事業所だよりを配布している。行事の出欠確認のお手紙意外にも、詳細について前日等にお知らせしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	伝わりやすいよう、動画や写真などを用いてお知らせする。	お話出来る保護者が限られている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	法人本部で夏祭りを開催している。	事業所では未実施。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1		訓練は行っているが、保護者への内容の周知が出来ていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		新規利用時の書類で「緊急搬送時の情報提供書」をお渡しし、年1回見直しを行っている。てんかん、熱性けいれんのある方については、どのような状況でご家族に連絡させていただくか、個別に確認している。	服薬の場面无いが、服薬に関する同意書が作成できていない。 →早期に作成する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		医師から保護者への指示のもと行っているため、厳密には指示書を確認していない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		毎月行われている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1		支援計画への記載は行っていない。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 24日

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！玉島

保護者等数(児童数)20 回収数15 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1	0	1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	0	0	3		
適切な 支援 の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	1	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	0	色々な活動があって良い	ありがとうございます。今後も、施設内外問わず、社会性の向上に主軸をおいた活動を提供してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	0	0	9		
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0	ダメなことをだめと伝えてくれていて良い	恐縮です。お子さまのこれからの成長を見据えて、適切な行動を都度お伝えしたいと思います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	0	いつもアドバイスをくれて助かる	ご家庭の状況を知ることが出来る貴重な場面なので、今後も小さなことからご相談をお受けしたいと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	0	1	2		ご家族同士の交流場が少ないかと思っておりますので、今後もイベント等で機会を設けさせていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	4	駐車場でセールスを受けたことを相談したところ、すぐ周知してくれた	すぐにお知らせ頂き助かりました。その後、同様の事例はありませんでしたが、今後も不安な事がありましたらご相談ください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0	たくさん伝えてくれて、その日に何をしたか分かるので良い	保護者の皆様とお話出来る時間を、今後とも大切にしていきたいと思っております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1	0	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	13	0	0	2		
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	0	0	急なことにも対応してくれて助かる	お子さまと保護者様の安全を確保できるよう、今後も努めてまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	4		実施の際はお知らせいたします。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 24日

※在籍期間の短い職員も回答しているため、回答者数にばらつきあり

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！玉島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2		階段が急、入り口が完全フラットではない →入室時に声かけを行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		公開している事は知っているがどこで公表しているか知らない→職員へ周知する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		外部評価を受けているか分からない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	研修のお知らせを受けている	現場の人数によって、参加できる研修とそうでない研修がある 放デイに特化した研修は受けていない
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			年度の最初に利用児童の姿に合わせて計画している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		施設内にとどまらないようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		個別支援計画に基づいて、かつ児童一人一人の一年間のリズムに合わせて、個別課題を用意している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	必要に応じて、前日より前の打ち合わせも行う	体操教室では事前の話合いが少ない →留意点、必要な個別対応を朝確認する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	特記がある際に話しあい、支援の方向性に結び付けている	話し合っているが毎回ではない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		年2回懇談を実施し、見直している	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児発管及び担当職員が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		児童の様子、保護者のニーズにより適宜、支援会議の依頼や電話連絡での情報共有を行っている	相談の上がないケースについて、情報共有が出来ていなかったり、ニーズがある中で学校訪問が出来ていなかったケースもある →ニーズのあがったケースは早急に動く。ニーズが挙がっていない場合も家族経由での聞き取りは適宜行う
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療ケア児の利用なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		引継ぎがあれば書類の受取り、内容の反映等行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	次事業所への引継ぎを必要に応じて行っている	3年生までの利用のため、卒業前に利用終了となる →資料を用意しておくことで、要望が挙がった際に当時の情報が提供できるように準備しておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		専門機関との連携は可能な範囲で行っているが、助言や研修を受ける機会はない
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		何が自立支援協議会にあたるか分からない →児発管より周知する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		保護者に送迎していただくため、送迎時にやりとりしている	感染症対策で受け渡し職員や場所を制限している関係から、担当職員と保護者が時間をかけて話す機会が減っている →ニーズがある、共有が少ないなどの場合は、別室を活用したり、電話連絡での情報共有を行う
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	2	2	保護者茶話会、親子イベントを実施している	本格的なペアレントトレーニングは未実施 →職員が研修を受けることから始める
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に、重要事項説明書をもとにお伝えしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		必要に応じて個別面談を実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		保護者茶話会、親子イベントを実施している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		「なんでも相談」として承っている	すぐに解決が難しい事柄は、早急に対応できる部分から行う
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			
	35	個人情報に十分注意している	4	1	個人情報(ケースファイル)は職員室でのみ取り扱うようにしている	ケースファイルを保管している棚の一部が破損している →修理を予定している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		必要に応じてカード、情報書など等用いている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	法人本部では地藏盆祭が開催されている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3	策定しているが、保護者への周知が出来ていない →必要に応じて公開する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	個別支援計画への記載が出来ていない →必要な児については記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	緊急時の情報提供書を用意している 提出の無いご家族へのお声かけが不十分 →繰り返しお声かけする 指示書は受け取っていない →重篤なアレルギーのある方は提出をお願いする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		